

令和 8 年 6 月 3 0 日

令和 7 年度 特別の教育課程の実施状況等について

大分県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
豊後高田市立香々地小学校	豊後高田市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
香々地小学校	https://syoud.ed.jp/takada/kakazi/

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
香々地小学校	https://syoud.ed.jp/takada/kakazi/keiei/20917/	https://syoud.ed.jp/takada/kakazi/keiei/20917/

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

ALTに「英語科」の授業に参画いただき、実施体制の充実を図ることにより、特別の教育課程を円滑に実施することができている。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

＜特記事項＞

学校公開日で「英語科」の授業を参観できるようにしている。また、年に1度、地域保護者を対象として特別の教育課程に関するアンケートを実施し、保護者が特別の教育課程への意見を集約し、改善をはかるようにしている。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、香々地地区に住む子どもたちに「主体的・対話的な英語学習を通した児童・生徒のコミュニケーション能力の育成」を目指すものである。実際、本特例を実施している香々地小学校においては、「どの学年も英語を楽しんで学習し、ある程度の語彙力を身につけている」というような成果が上がっている。

一方で、「授業の中で子どもたちが英語を話す時間や他学年との交流の機会を増やす」「必然性のある場面設定や表現活動の工夫を研究していく」「教職員がクラスルームイングリッシュを習得する必要がある」というような課題も指摘されているところである。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施している香々地小学校においては、全国や県の学力調査において、とくに国語科の学力が高いという結果が出ている。「英語科」の設置により、各教科等の学習においても優れた効果が上がっていることが明らかとなっている。

4. 課題の改善のための取組の方向性

3に示すような課題を踏まえて、「異学年間で・近隣小学校間で・小中間で・外国人と交流する場を設定して、自分の考えを表現する」という方向で本特例の改善を図ることが必要と考えられる。そのためには、授業で英会話の基本を用いて発表する練習を取り入れ、英語表現を習得する必要がある。